

第67回 消費者行動研究コンファレンス開催のお知らせ

春のコンファレンスと同様に、現地（リアル）開催を予定しています。現在、コーディネーターの石淵順也先生（関西学院大学）、磯田友里子先生（高知大学）、山本奈央先生（名古屋市立大学）を中心にプログラムを検討中です。詳細については次号でお知らせいたします。

なお、季節柄、お日にちが近づいてまいりますと、京都市内での宿泊予約が難しくなることが予想されます。コンファレンス参加をご予定されている場合は、お早目の宿泊予約をお勧めいたします。

日程：2023年10月21日（土）・22日（日）／開催校：京都産業大学（京都市北区上賀茂）

自由論題研究報告など募集！

第67回消費者行動研究コンファレンスにおける自由論題研究報告の報告者を募集します。詳細は、JACS Web サイト（<http://www.jacs.gr.jp/>）をご覧ください。

第66回 消費者行動研究コンファレンス 開催報告 ＜統一論題＞ポストコロナの消費者行動

第66回消費者行動研究コンファレンスが2023年5月13日～14日に対面形式で開催されました。第1日目午前は2会場に分かれ、自由論題研究報告として6件（LS：2件、SS：4件）の報告が行われました。午後には「ポストコロナの消費者行動」をテーマとして、駒澤大学の菅野佐織先生による解題の後、慶應義塾大学の坂下玄哲先生による「リアル店舗のポストコロナ対応」、青山学院大学の久保田進彦先生による「ポストコロナとリキッド消費」、早稲田大学の恩藏直人先生による「サービスロボットの浸透と消費者行動」のご講演をいただきました。続いて、学習院大学の青木幸弘先生に司会としてご登壇頂き、4名の先生方によるパネルディスカッションが行われました。第2日目の午前中には、特集論文セッション（テーマ「レビュー論文特集」）として6件の口頭発表が行われました。午後は2会場に分かれ、自由論題研究報告として9件（LS：3件、SS：6件）の報告が行われました。

今回のコンファレンスは3年半ぶりの完全対面開催となり、懇親会を含めて大変盛況なコンファレンスとなりました。ご登壇頂いた先生方、開催校を担当いただいた先生方、そして執行部・事務局の先生方、スタッフの方々に心から感謝申し上げます。

「特集論文」について

●特集論文セッション（第3期）：

論文受付を2023年10月2日よりスタートします。詳しくは別項（P3）をご覧ください。

●特集論文セッション（第4期）：

特集テーマを第67回コンファレンスにて発表いたします。乞うご期待ください。

2022 年度決算報告

第 66 回会員総会(2022 年 5 月 14 日開催)にて 2022 年度決算報告が行われ承認されました。

科 目	2022 年度 予算額	2022 年度 決算額	差 異	2023 年度 予算額
1. 事業活動収入				
会費収入	7,281,000	6,465,000	816,000	7,084,000
学会会員	5,304,000	4,920,000	384,000	5,376,000
学術学生会員	365,000	265,000	100,000	365,000
個人賛助会員	160,000	130,000	30,000	155,000
法人賛助会員	750,000	750,000	0	750,000
滞納等	702,000	400,000	302,000	438,000
コンファレンス収入	1,700,000	1,252,000	448,000	1,700,000
学会誌販売収入	100,000	100,980	△ 980	0
雑収入	0	33	△ 33	0
助成金	500,000	500,000	0	500,000
事業活動収入計	9,581,000	8,318,013	1,262,987	9,284,000
2. 事業活動支出				
事務費	1,380,000	2,140,379	△ 760,379	1,130,000
学会誌印刷・発送一式費	880,000	889,313	△ 9,313	0
通信費	130,000	121,962	8,038	120,000
Web ホスティングサービス利用費	70,000	124,850	△ 54,850	0
HP 管理業務委託費	0	858,000	△ 858,000	860,000
その他	300,000	146,254	153,746	150,000
事業運営費	3,080,000	2,975,508	104,492	3,880,000
コンファレンス支出(会場費含む)	1,700,000	1,551,328	148,672	1,700,000
コンファレンス開催費(開催校補助費)	100,000	200,000	△ 100,000	400,000
コンファレンス Website 管理費	0	0	0	100,000
学会誌作成費(査読謝礼費)	170,000	315,680	△ 145,680	300,000
査読システム運用費	100,000	148,500	△ 48,500	150,000
新査読システム使用料	0	0	0	170,000
学会誌サポート費	360,000	360,000	0	360,000
国際交流事業費	200,000	0	200,000	200,000
ワークショップ開催費(開催補助費)	150,000	0	150,000	100,000
学会賞賞金	300,000	400,000	△ 100,000	400,000
予備費	5,100,000	4,673,996	426,004	4,050,000
査読(出版)システム開発費	1,000,000	660,000	340,000	50,000
学会サイトリニューアル費	100,000	0	100,000	0
事務委託費	4,000,000	4,013,996	△ 13,996	4,000,000
事業活動支出計	9,560,000	9,789,883	△ 229,883	9,060,000
当期収支差額	21,000	△ 1,471,870	1,492,870	224,000
前期繰越収支差額	33,942,349	33,942,349	0	32,470,479
次期繰越収支差額	33,963,349	32,470,479	1,492,870	32,694,479

上記の通り報告いたします。

事務局担当理事

大竹 光寿 印

上記の報告を適正なものとして認めます。

監事

高橋 広行 印

10月2日より「特集論文(第3期)」公募を開始いたします

『消費者行動研究』の特別号(2024年刊行予定)に掲載する特集論文を、来る10月2日より受付開始いたします。研究者・大学院生の方々からの、多数の応募を期待しております。

第3期特集論文では特集テーマを「日本の消費者と消費者行動研究」といたしました。

日本の消費者を顧客とする企業や経済・社会では、日本の消費者の特性は企業の意味決定や流通構造などに大きな影響を与えるものです。このような顧客としての日本の消費者の特性に関する研究は今回の特集テーマの大きな柱のひとつです。また、日本の消費者に関する研究の重要性は企業の意味決定や経済・社会の構造への影響にとどまりません。例えば、癒し消費やごほうび消費など日本ならではの消費文化と文化生成のメカニズムや、海外の消費者と日本の消費者の比較や訪日消費者の消費者行動の研究などは学会員にとって関心が高い領域です。さらに、日本の消費者を取り巻く環境や、消費者が直面する課題に関する研究は、政策においても重要となっています。今回の特集では、このような日本の消費者に関する研究の投稿をお待ちしています。またこれらに加えて、海外での消費者行動に関する研究結果の再現性を日本の消費者で検証することについて学会員の間でも関心が高まっています。このような日本の消費者を対象とした再現性の研究についても歓迎いたします。さらに、日本の消費者行動研究自体も今回のテーマの対象となります。日本の消費者行動理論や、日本における消費者行動研究のレビューなど、今後の日本の消費者行動研究の道標となる研究についても投稿の対象となります。

今回の特集論文では、特に若手の研究者および大学院生の皆さんから、新しい視点や独自の視点にもとづく先鋭的な議論を展開していただけられることを期待しますが、キャリアを問わず、ご投稿をお待ちしています。

●出版までの流れ

査読審査にて採択された論文は、2024年春のコンファレンスでご発表頂いたのち、再度の審査を経て2024年末に早期公開される予定です。

【第1段階の審査】

応募された論文に対して、コンファレンスでの発表が可能かどうかを審査します。(特集論文編集委員会が任命した査読者によって、ダブルブラインドで実施されます)。

【第2段階の審査】

コンファレンスでの発表後に提出された論文に対する審査(査読回数は2回まで)をします。(コンファレンス発表により著者が明らかになるため、この後の査読はシングルブラインドとなります)。

●全体的な流れとスケジュール

【第1段階】コンファレンスへの応募と口頭発表

2023年10月2日: 応募受付開始

2024年1月8日: 応募締切

2024年3月下旬: 発表諾否の査読結果通知

2024年5月: 春のコンファレンスにて口頭発表

【第2段階】論文の投稿と出版

口頭発表時のフィードバックを反映させた修正稿を提出して頂きます。

2024年7月頃: 修正稿締切

2024年9月頃: 論文採否の査読結果通知

2024年12月頃: 採択論文をj-stageで早期公開
その後、『消費者行動研究』の特別号に掲載

●「特集論文賞」(口頭発表賞と論文賞)

各年の応募の中から、コンファレンス特集号セッションでの発表と、『消費者行動研究』特集論文に掲載された中から特に優秀な発表と論文を選定し「特集論文賞」を授与。(受賞対象は学会員)

応募方法、査読プロセスなど、詳細に関しましては以下の募集要項ページをご参照ください。

<https://www.jacs.gr.jp/conference/tokushuronbun-3/>

8月1日より「論文投稿システム」が新しくなります

学会誌「消費者行動研究」では論文投稿に際しまして、従来、JACS オリジナルの投稿システムを採用してまいりましたが、論文著者・査読者の利便性向上を図るため、2023年8月1日より、世界的に利用されている投稿・査読システム「Editorial Manager®（通称 EM）」へ移行を行います。対象となる論文は、8月1日以降の新規投稿受付分からとなります。

新システムへ移行後は、「投稿規定」と「論文フォーム」が変わりますのでご注意ください。

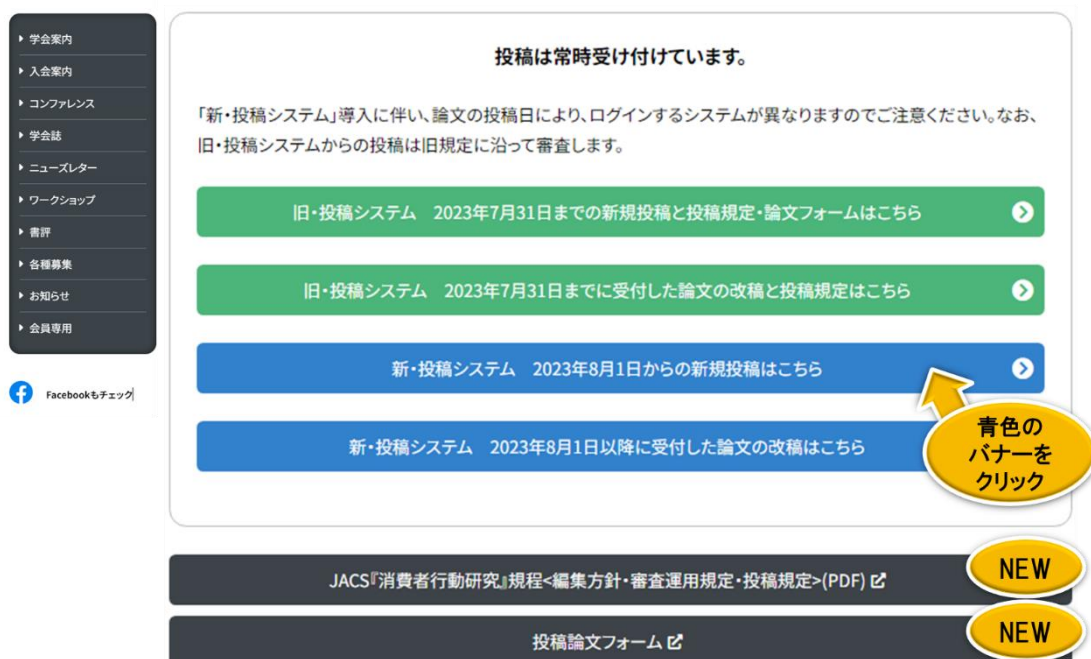
なお、旧・投稿システムにて新規投稿を受け付けた論文については、その査読プロセスが完了するまで、旧・投稿システムをご利用ください。

★当面、新・旧の2システム体制で査読を進めます。

JACS Web サイト TOP ページ : <https://www.jacs.gr.jp/>



学会誌ページ : <https://www.jacs.gr.jp/book/post/>

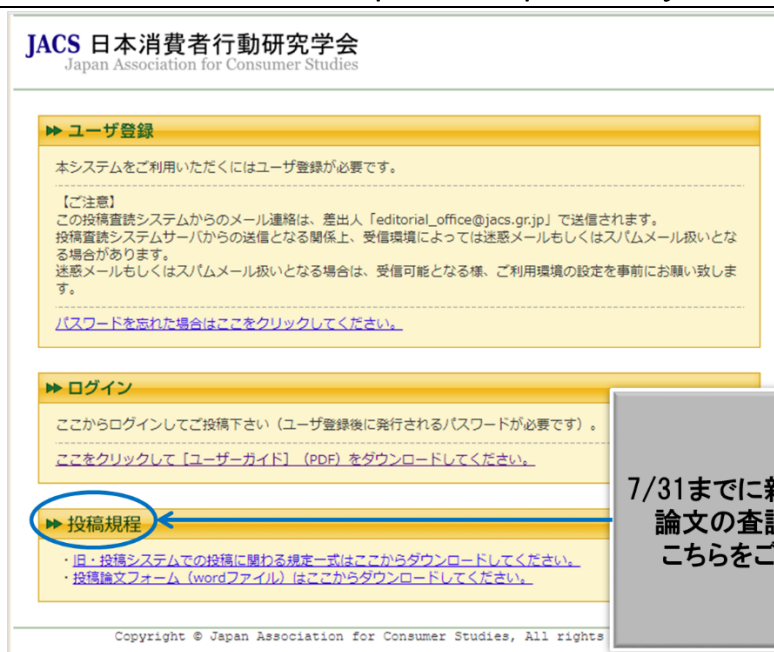


新・投稿システムログイン画面 : <https://www.editorialmanager.com/jacs1992>



※編集者・査読者には個別にログイン・マニュアルを学会誌編集事務局よりご案内します。

旧・投稿システムログイン画面 : <https://www1.i-product.biz/jacs-es/author/>



ご不明な点がございましたら学会誌編集事務局 (editorial_office@jacs.gr.jp) までお問い合わせください。

学会費の「銀行振込」についてのお願い

会費納入に際しましては、事務局から郵送でお送りしている「郵便局の振込用紙」でのお振り込みをお願いしておりますが、銀行振込をご利用の場合、大学名や企業名などの「組織名」から入力されますと、振り込みました「個人名」が特定できないというケースが出てきます。「銀行振込」の際には、必ず「個人名」から記入していただきますよう、ご協力をお願い致します。

やむを得ず組織名から（または組織名のみ）の振込人名になる場合は、事務局まで e-mailにてご一報いただきますようお願い致します。

ご所属・ご住所の変更についてのお願い

★ご登録の所属先等が古いままで、更新されていない方が多く見受けられます。

ご所属やご住所が変更となる際には、必ず JACS 事務局へご連絡ください。お手数ではございますがよろしくお願い致します。

なお、会費納入時、「郵便局の振込用紙」に変更箇所を明記されるケースが見受けられますが、変更のご連絡は、下記 JACS 事務局までお願い致します。

JACS Website

(<https://www.jacs.gr.jp/admit/#change>) からご自身でも直接変更可能ですので、是非ご活用ください。

新入会員の募集について

本学会への入会を希望される方は
学会 Website (<https://www.jacs.gr.jp/admit/>) から入会申請を行ってください。

●入会資格

[学術会員]

消費者行動の研究・教育に従事する大学の専任教員、大学院在籍者（在籍経験者を含む）、およびそれに準ずる者（文部科学省が学術研究団体と認める学会の正会員、大学の非常勤講師としての教歴を有する者、等）。

但し、学術会員 1 名の推薦が必要。

[賛助会員]

本学会の趣旨に賛同する法人および個人。

●入会規定 <https://www.jacs.gr.jp/admit/>

●年会費

※令和 3 年度（2021 年度）より

[学術会員] 12,000 円

（但し、大学院生は 5,000 円に減免）

[賛助会員] 個人会員 1 口 5,000 円

法人会員 1 口 50,000 円

★法人会員には会員特典がございます。

詳しくは学会 Website

「賛助会員：会員特典」をご覧ください。

●日本消費者行動研究学会（JACS）事務局のご案内●

（事務局）明治学院大学経済学部 大竹光寿研究室
〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37
Email: jacs.assist@gmail.com

（事務取扱）日本消費者行動研究学会 事務取扱
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13 4F
一般社団法人 学会支援機構内
Tel: 03-5981-6025 / Fax: 03-5981-6012
Email: jacs@asas-mail.jp



<JACS Website>

<https://www.jacs.gr.jp>